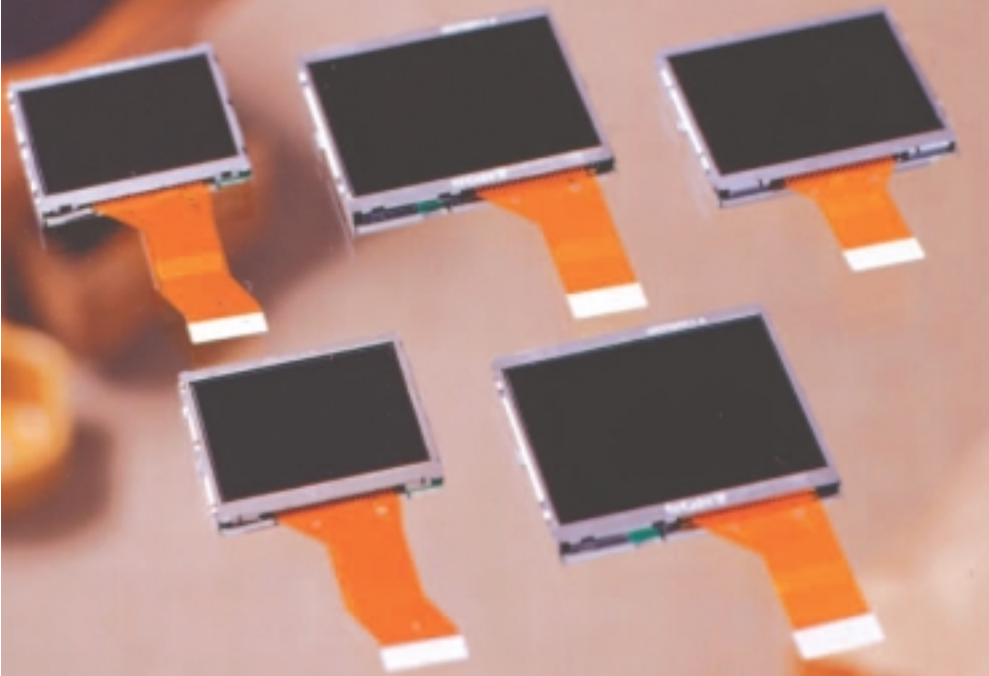


低消費電力、デジタルインタフェース対応の デジタルスチルカメラ向けLCD ラインアップ



ますます市場が伸びるデジタルスチルカメラ (DSC) 向けに、LCD のラインアップを全面的に見直しました。従来の高品質な画質と視野率 100% を維持し、大幅な低消費電力化とデジタルインタフェースへの対応を同時に達成しました。豊富なラインアップの駆動には共通のドライバを使用できるため、セット設計の効率化にも寄与します。

写真はバックライト付きですが、全てバックライト無しのご提供も可能です。

● 低消費電力

従来のCOMDC駆動からCOMAC駆動に変更することにより、電源電圧を12Vから8.5Vに下げ、大幅な電力削減を実現しました (図-1、図-2)。

● デジタルインタフェース対応

デジタル化のメリットとして、D/Aコンバータが不要、低ノイズ、製造時の無調整化などがあります。もちろん、従来のアナログインタフェースにも対応しています。

● 豊富なラインアップ

画素数、画面サイズとも豊富なラインアップをそろえていますので、セットの大きさやコンセプトに合わせて柔軟に対応が可能です (図-3)。また、今後さらにラインアップを拡充する予定です。

● 同一ドライバによる駆動

これら豊富なラインアップは、EVFも含め

全て同一のドライバで駆動可能です (図-4)。デジタルインタフェースの場合はCXM4006を、アナログインタフェースの場合はCXM3005をご使用いただけます。EVFとの交互駆動には、デジタル駆動のCXM4007が用意されており、ドライバが一つで済みますので、省電力、省スペース、コストダウンに寄与します。

● 薄型化

薄型導光板の導入、バックライトの構造検討を積極的に進め、ガラスエッチングも導入して、薄型化においても業界をリードしています (図-5)。ACX318ELNは、バックライトを含めたモジュール厚が2.685mmで、業界トップレベルとなっています。

● 視野率100%

デジタルスチルカメラでは、撮影する、または撮影した画像の全てが欠けることなく

ACX318/319/320/321/324

- 低温ポリシリコンLCD
- 高色純度
- 低消費電力
- デジタルインタフェース対応
- 無調整化 (デジタルIF)
- 狭額縁・薄型
- 同一ドライバによる駆動
- 視野率100%

V O I C E

ラインアップを揃えるため、一度に複数の機種を立ち上げる必要があり、多くのメンバーに無理を言って頑張ってもらいました。透過率や狭額縁などのメリットを犠牲にすることなく、低電圧での駆動を実現するのが難しかったところですが、納得のいく製品に仕上がったと自負しています。モニターはDSCの顔です！是非美人揃いのソニーのパネルをご使用ください。



設計者
森田 俊朗

確認できる必要がありますが、全てのパネルが視野率100%に対応しています。

● 高色純度

カラーフィルタは、製造所であるエスティ・エルシーディ(株)で内製していますので、各色をパネルに合わせ最適に設計することができ、高純度での色再現が可能となっています。

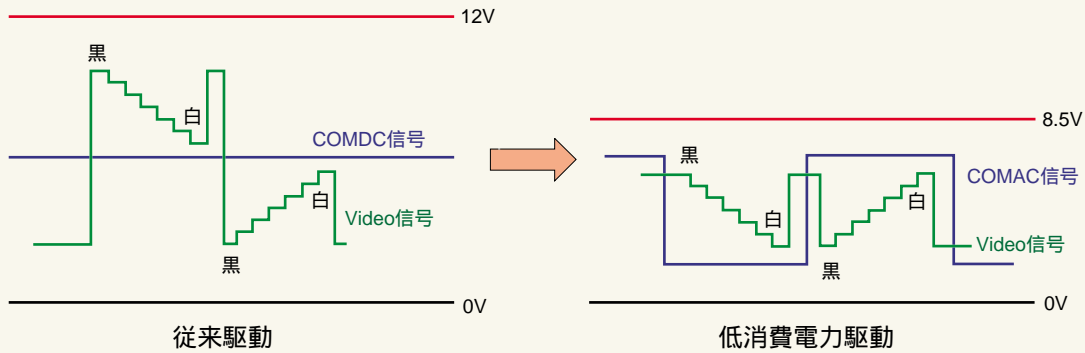
● 狭額縁

低温ポリシリコンによるCOGレス駆動のため狭額縁を実現しており、特に筐体の小型化と同時にLCDモニタの大型化が進むデジタルスチルカメラの設計において、有利なポイントとなります。

● 上下左右反転機能

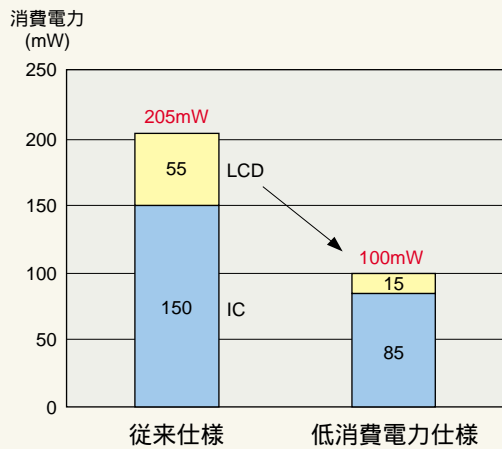
シリアル信号のみで簡単に上下左右反転が可能ですので、モニターを回転させるタイプのデジタルスチルカメラなど、設計の自由度も高まります。

図-1 低消費電力の原理



* 図はおおまかなイメージを表すものです。

図-2 消費電力の比較 (例)



* データはB/Lを含めておりません。

図-3 豊富なラインアップ

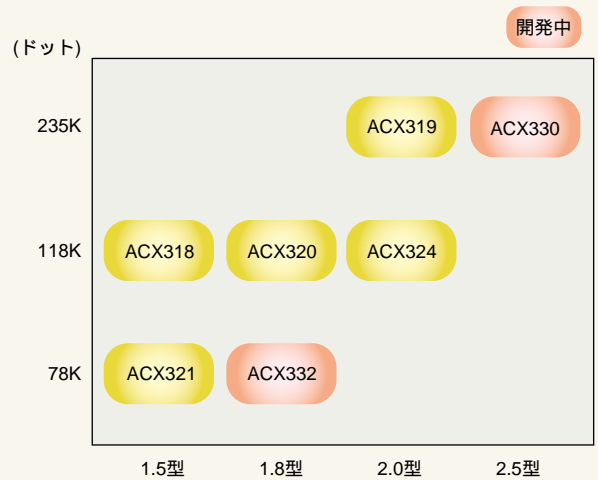
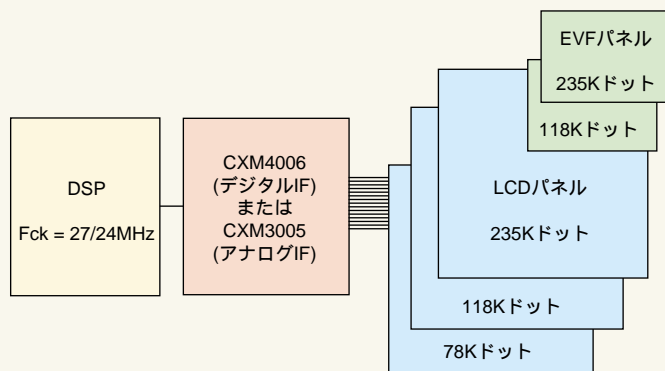


図-4 同一のドライバによる駆動



* EVFとLCDパネルの交互駆動ドライバ (CXM4007) も用意しています。

図-5 1.5型薄型化のトレンド

